

学校評価集計結果の分析・考察及び改善策の検討

令和2年度

進路指導部

1 集計結果の分析・考察

① 課外の日数（少し多い）

夏：R2 & R元度：前8，後8 計16日

（参考）H30年度：前7，後8 計15日，H29年度14日

冬：H30年度に年末・年始で計4日と規定

② 全体の課題量の調整

△ i 宅習課題の適正化

△ ii 宅習習慣の定着指導

③ △ 公務員・就職指導

・・・公務員志望者への直接の学力的指導は行っていない。（2年前から学年主体での教科指導を行っていない）← 学年職員の負担軽減のため

2 改善策及び今後の在り方・方向性等

①・・・現状どおり（減らす方向では考えず）

②・・・一昨年度から、学習実態調査&意見集約において、職員が確認・活用する

資料としている。何かあれば、担任会・学年会から進指係会へ提案して下さい。

△ i 宅習課題の適正化・・・担任会・学年会から進指係会へ提案して下さい。

△ ii 宅習習慣の定着指導・・・学年・教科担任での指導を見守る立場をとっている。

③ △ 公務員・就職指導

・・・公務員志望者への直接の学力的指導は行っていない。（2年前から学年主体での教科指導を行っていない）← 学年職員の負担軽減のため

（行っている指導）

A 模試の実施

B 受験意識高揚のために2年生向けに、公務員合格者3年生の助言を貰う場を設定（1月末、平日の昼食時間、地歴公民講義室）

C 夏季休業中公務員専門学校へ通学する生徒の手続き

D 必要に応じて、面接指導は確実に実施。

